

転倒災害増加中！

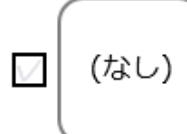
てんとうさいがい

転倒災害

を防ぎましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています。以下のチェックリストをもとに対策の漏れがないか確認してみましょう。

「つまずき」等による転倒災害の主な原因と対策



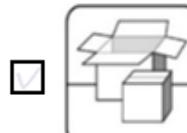
(なし)

何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒 (27%)

▶転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入



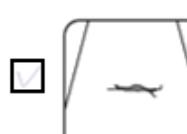
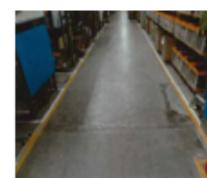
職場3分
エクササイズ



(なし)

作業場・通路に放置された物につまずいて転倒 (16%)

▶バックヤード等も含めた整理、整頓 (物を置く場所の指定) の徹底



(なし)

通路等の凹凸につまずいて転倒 (10%)

▶敷地内 (特に従業員用通路) の凹凸、陥没穴等 (ごくわずかなものでも危険) を確認し、解消



(なし)

作業場や通路以外の障害物 (車止め等) につまずいて転倒 (8%)

▶適切な通路の設定

▶敷地内駐車場の車止めの「見える化」



「滑り」による転倒災害の原因と対策



(なし)

凍結した通路等で滑って転倒 (25%)

▶従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する

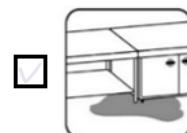


(なし)

作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒 (19%)

▶水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。

(清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放の徹底)



(なし)

水場 (食品加工場等) で滑って転倒 (16%)

▶滑りにくい履き物の使用 (労働安全衛生規則第558条)

▶防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工

▶隣接エリアまで濡れないよう処置



まずは始めてみよう 転倒予防3選

1

▶ 転倒災害の見える化対策



職場の安全サイト
(転倒災害対策ページ)

人は問題が目に飛び込んでくれば行動を起こします！
色や貼り方などに工夫を加えて人の目線上に対策してみ
ましょう。

ホース類の躊躇防止

滑止め・トラテープの貼付け

傾斜の見える化



2

▶ 適切な靴の選択をしよう

作業時に着用する靴の安全性は、作業環境の状況に応じて決められています。まずは、職場環境を把握して職場の状況に適合する靴を選択してみましょう。

サイズ

重量バランス

靴底の減り具合

つま先部の高さ

耐滑性の有無



フィットしていない



つま先が重い



靴の凸凹が減少



つま先が低い



靴の滑りにくさを確認して
いますか？

3

▶ 進めましょう！転倒予防体操

加齢とともに進行する身体強度や運動機能の低下の予防は転倒災害の予防にも寄与します。継続的な体操・運動を心掛けましょう。

(右足踏出し→左足踏出し)×2セット



(右足タッチ→左足タッチ)×8セット



(右足→左足の片脚スクワット)×2セット

